

# 平成29年度 自己評価書

学校名

北海道苫小牧東高等学校(全日制)

## 1 本年度の重点目標

- 1 進路目標を明確に意識させ、自ら進んで学習に取り組む授業・講習の工夫・改善に努める。
- 2 情報機器等の使用についてモラルを喚起し、事故等の未然防止に努める。
- 3 学年ごとの目標を明確にし、学年団・HR担任との連携を密にして目標の達成に努める。
- 4 健康診断・保健管理の充実を図るとともに、生徒自ら健康管理を行う態度の育成に努める。

## 2 自己評価結果

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
大項目	中項目	小項目			
教育課程・学習指導	教育課程等の状況	学習指導要領や医進類型等に対応した教育課程の編成・整備を行う。	B	B	現行の教育課程の見直し、新学習指導要領の改訂趣旨の理解の深化に努める。
	各教科等の授業の状況	主体的な学習態度の育成を図り、学力の向上に努める。	A	A	生徒の学習意欲を高めるための視聴覚教材や情報教育機器などの教材・教具の活用に努め、より一層の指導方法の工夫改善に取り組む。
		シラバス(学習の手引)を作成し、生徒の目的意識の明確化を図る。	B	A	
生徒指導	生徒指導の状況	地域・保護者・関係機関との連携を強化し、問題傾向の早期発見とその指導に努める。	B	A	教員全員で継続して生徒指導に取り組む体制の整備に努める。
	生徒の人格的発達のための指導の状況	各学年・分掌との連携及びホームルーム活動・生徒会活動を通して、基本的な生活習慣の確立を図る。	B	A	情報モラル教育や教育相談のより一層の充実を図るとともに、生徒の望ましい人間関係の構築を支援するためのいじめ未然防止プログラムの充実に取り組む。
		教育相談や情報モラル教育の充実を図るとともに、生徒の望ましい人間関係の構築を支援し、いじめの未然防止に努める。	A	A	
		学校いじめ防止基本方針を踏まえ、ささいな兆候に注意し、懸念、生徒の訴えを抱え込まずに、組織的に対応する。	A	A	
進路指導	進路指導の状況	各学年・教科・分掌との連携を密にして、学校全体としての組織的な進路指導体制の確立に努める。	A	A	大学入試改革に対応するために情報収集を行い、より一層の指導の充実を図る。
		前年度までの成果や反省および蓄積データを活用し、目的・意識を明確にした企画立案・実践を図る。	A	A	
	生徒の進路実現のための指導の状況	効果的な進路指導を推し進めるための校内研修の充実を図る。	A	A	課外講習、面接指導、小論文指導の在り方を見直し、教員の負担を軽減できるような工夫改善に取り組む。
		生徒の進路実現のため、年間の課外講習、模擬試験、面接指導、小論文指導を計画し実施する。	A	A	
健康・安全指導	保健・安全指導の状況	健康診断・保健指導の充実を図るとともに、生徒自ら健康管理を行う態度の育成に努める。	B	B	担任や学年のほか、教育相談委員会やスクールカウンセラー、関係機関と連携できる体制を整備し、早期発見に努め、適切な対応と支援を行うことができるよう教育相談体制のより一層の充実に取り組む。
		教育相談員会の指導体制の充実を図り、ホームルーム担任や生徒への支援体制づくりに努める。	B	B	

## 3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- 1 教育課程・学習指導において、学校の教育課程の編成・実施の考え方についての教職員間の共通理解を深化させ、本校生徒の実態や保護者や地域の期待に応えられるような教育課程の編成・実施に取り組む。
- 2 生徒指導において、学校の教職員全体として生徒指導に取り組む体制を整備し、スクールカウンセラーとの連携協力による教育相談の充実、教育相談委員会の役割の明確化に取り組む。